

読書アンケート調査へのご協力ありがとうございました！

先日の読書に関するアンケート調査では、お忙しい中ご協力頂きましたこと、そしてたくさんの貴重なご意見をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。保護者の皆様が、読書や「家読」に対して、素晴らしいご意見とご感想をお持ち頂いていることや園へのご要望などをうかがうことができ、今後の園読書活動への更なる飛躍への指針とすることができました。本当にありがとうございました！

「家読」に関しては、半数の保護者の皆様にはご理解いただいておりますが、逆を言えば半数の保護者の皆様には、まだまだ私どもの啓発の仕方が不十分であった結果だと反省しています。「家読」の素晴らしさは、国の読書推進計画の中でも大きく取り上げられており、今後福島県でも読書推進計画の中の重要項目として、幼児期に必要な読書活動として注目されていく活動です。小平こども園でも、この「家読」を推進し啓発していくと共に、幼児期にこそ必要な「読書習慣」の確立のためにより一層努力していきたいと思います。どうか、今後もご協力のほどよろしくお願い致します。



もも組担任 ★ 松崎奈緒先生・坪井正子先生からの読書活動のご紹介です！



もも組の読書活動をご紹介します！！

もも組の子ども達は、絵本が大好きで朝の活動前や給食時に読む本をいつも楽しみにしています。首を長くして待っている姿を見ると本当に可愛らしく思います。子ども達の大好きな絵本タイムには、「先生、これ読んで！」と次々に絵本を持って先生のところへやってきます。先生のお膝は子ども達にとって特等席！そんな子ども達との触れ合いを大事にしています。

男の子と女の子では、選択する絵本が違いますが、男の子はウルトラマンや昆虫の絵本が大人気。女の子は動物や食べ物の本が人気です。昆虫の絵本に対して女の子は、「虫！虫！虫！」と驚きながら感想を言ったり、逆に食べ物の本に対して男の子が「おいしそうだね！」と食欲をそそられたりなど、お互いに選



んだ本に共感し合いながらこの「絵本タイム」を楽しんでいます。

また、活動前や給食時に読む本は、クイズ形式にして問題を出しながら読んでいます。「黄色くて長い果物は何かな！？」と質問しながら絵本を読み進めていくことで、子ども達の発想や想像力がふくらみ、絵本の楽しさが2倍にも3倍にもなりますね！クイズに正解すると嬉しそうに喜び姿が見られます。絵本の楽しみ方はそれぞれですが、子ども達が興味・関心を持ってくれるような絵本を選び、絵本の中に吸い込まれるような本を、これからも読み続けていきたいと思ひます。



絵本の時間の特等席…。それはお家のみなさんのお膝であり、もっともっと特別な場所であることは間違いないのだと思ひます。

もも組の先生のオススメ絵本はこれ！！



「はらぺこあおむし」
作:エリック・カール
出版社:偕成社



「ごめんやさい」
作:わたなべあや
出版社:ひかりのくに



絵本サロンが開催されました！



去る10月29日(火)に、絵本サロンが開催され、今回も福祉センターを利用しているお年寄りの皆さんがたくさんご来園くださり、子ども達と一緒に楽しい時間を過ごしました。日頃、ご家庭に小さいお子さんがいらっしやらないお年寄りのみなさんからは、「子ども達からいっぱい元気もらったなあ…!」と、たくさんのお言葉をいただきました！次回もぜひご来園いただきたいと思います！



今回の担当は、遠藤美穂先生と熊谷洋子先生です！
今回読み聞かせした絵本は、「うさぎとかめ」と「ちびくろさんぼ」の絵本です。



次回は、12月19日(木)
開催です！ぜひご来
園ください！

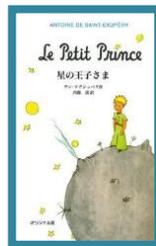


今月のちよつといいコトバ



「何百万年も前から、バラの花はとげをつけてきた。そんな風に何の役にも立たないとげを、どうしてバラがずっとつけてきたのか、その理由を知ろうとすることが、それほど大切なことじゃないって言うの？」

「星の王子様」より サン=テグジュペリ*内藤 濯 訳



主人公の「ぼく」が故障したエンジンを修理している途中、王子さまはしつこく質問します。「ヒツジって花も食べるの?」「とげのある花も?」「とげは何の役に立つの?」など次から次と質問攻めにします。しかし「ぼく」は、「どうでも良いようなことは聞かないでくれ!ぼくは今、忙しいんだ!」と怒ってしまいます。その時に王子さまが「ぼく」に言った言葉です。

大人にとっては「どうでもいいじゃない!」と思うことも、子どもの頭の中では一大事!そんな時に子どもと向き合える余裕を誰もが持っていたいと願うのも事実…。子ども達の「なんで?」に、「忙しい」とは言わず、一緒に考えられる大人でいたいものですね!